

平成 30 年度 学校全体で育成する資質・能力のルーブリック

校番 009 尾道東 高等学校

尺度	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
分類・整理する力	目的に応じた分類の視点を与えられていても、共通性・規則性を見出せず、適切に分類・整理することができない。	目的に応じた分類の視点を与えられていれば、共通性・規則性に従い、適切に分類・整理することができる。	目的に応じて必要な分類の視点を自ら考えて、共通性・規則性に従い、適切に分類・整理することができる。	目的に応じて必要な分類の視点を自ら考え、共通性・規則性に従い、次のステップも見通して利用しやすいように分類・整理することができる。
比較する力	目的に応じた比較項目・比較する規準を設定されていても、適切に比較することができない。	目的に応じた比較項目・比較する規準を設定されていれば、適切に比較することができる。	目的に応じて適切な比較項目・比較する規準を自ら設定して適切に比較することができる。	目的に応じて適切な比較項目・比較する規準を自ら設定して適切に比較し、結果を一般化することができる。
予測する力	分類・整理し、比較した結果から考察するが、新たな分析の視点を得ることができない。	分類・整理し、比較した結果から考察することで、見通し立て新たな分析の視点を得ることができる。	分類・整理し、比較した結果から考察することで、見通しを持ち新たな分析の視点を得て、さらなる分析を行っていくことができる。	分類・整理し、比較した結果から考察し、見通しを持ち新たな分析の視点を複数得て、多面的に分析を行っていくことができる。

別紙様式 1

尺度	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
類推・仮定する力	分類・整理し、比較した結果から考察するが、新たな考えを類推することができない。	分類・整理し、比較した結果から考察し、新たな考えを類推することができる。	分類・整理し、比較した結果から考察し、新たな考えを類推し、その考えを適切に理由づけすることができる。	分類・整理し、比較した結果から考察し、新たな複数の考えを類推し、その考えを適切に理由づけすることができる。
創造する力・新しい提案をする力	批判的思考力を統合的に用い、多面的な分析・考察をし、新たな価値を創造・提案しようとすることができない。	批判的思考力を統合的に用い、多面的な分析・考察をし、新たな価値を創造・提案することができない。	批判的思考力を統合的に用い、多面的な分析・考察の結果、何らかの提案をすることができる。	批判的思考力を統合的に用い、多面的な分析・考察の結果、新たな価値を創造・提案することができる。
メタ認知する力	自らが思考してきた過程を振り返り、客観的に評価することができない。	自らが思考してきた過程を振り返ることができる。	自らが思考してきた過程を振り返り、客観的に評価することができる。	自らが思考してきた過程を振り返り、客観的に評価し、次に活かすことができる。
理由づける力	主張を支える根拠として挙げた客観的な根拠（事実）が適切でない。	主張を支える根拠として客観的な根拠（事実）を挙げることができる。	主張を支える根拠として客観的な根拠（事実）を挙げ、根拠と主張をつなぐ論拠が明確に述べられている。	主張を支える根拠として複数の客観的な根拠（事実）を挙げ、根拠と主張をつなぐ論拠がそれぞれ明確に述べられている。